

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名 オールケア大日(児童発達支援・重心)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	必要に応じてスペースの使い方を工夫している。	来所される児童に合わせ、利用児様の動きを把握し安全面を配慮している。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	スタッフの協力依頼。	スタッフの流れの計画をたて、不足している所を事前に伝え協力依頼をかけている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	段差もなくフロアの外からもフロア内が見える。	過ごし横になるスペース、食事の時のスペースの配慮をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	来所する利用児様によって配置を変えている。	土足・土禁の場所が分かりやすくなった。興味のある玩具に安全面に配慮しその都度出すようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	82%	18%	目標の共有をし振り返りをしている。	ホール内に貼りだしている。方針書に記載し周知している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	82%	18%	面談した日に終礼時に伝えている。記録に残している。	管理者は分かるがスタッフはわかりづらい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	91%	9%	面談時に共通認識を持つようにしている。	HPで公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	55%	45%	内部監査を行い業務改善につなげている。	内部監査を行い業務改善につなげている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	専門職による研修の実施	内部研修はよくあるが外部研修は少ない
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	担当者会議で現状や課題を確認している	利用した日に保護者様に状況を伝えている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	91%	9%	事業所に合わせたアセスメント用紙を作成している	アセスの内容を検討しながらしようしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	91%	9%	支援内容を設定している。	本人様、保護者様のニーズの把握に努め計画に反映していけるよう努力する
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	スタッフが分かりやすく表を作成し支援を行っている。	個々のニーズを踏まえて内容の充実を図っていく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	82%	18%	ミーティング、担当者会議等の実施	毎月同じ内容になりがち。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	73%	27%	保育士が立案し計画を立てている。	固定化ではないがループしている。新しい活動を取り入れるようにしていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	91%	9%	支援計画の中に取り入れている。	大きい児童と小さい児童と同じ遊びをしたりしているため、しっかり子供の状況をチェックして促していく必要あり。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	82%	18%	朝礼で確認している	今後も続けていく
	18	100%	0%	終礼で振り返り共通理解している	今後も全員が周知できるよう変更点などノートに書き共有していく
	19	91%	9%	記録に残している。	記録はしているが次に支援につなげられていない。
	20	100%	0%	モニタリングを行っている	引き続き行い改善につなげる
関係機関や保護者との連携	21	100%	0%	児童発達管理責任者が参加している	今後も情報共有を行っていく
	22	82%	18%	必要時行っている	今後も必要に応じ連携を密にしていく
	23	73%	27%	関係機関と連携している	更なる支援充実のため今後も積極的に連携していく
	24	91%	9%	主治医指示書を通して連携している。	6カ月更新で主治医指示書を通して連携している。
	25	55%	45%	必要時行っている	対応となる児童はいない。
	26	73%	27%	必要時行っている	具体的な内容までは理解できていない。
	27	64%	36%	研修等少なく参加が難しかった。	内部の事業所ではできているが他機関とはできていない。
	28	55%	45%	交流する機会がない。	交流できることを考えていく。
	29	27%	73%	参加できていない。	どう参加できるのか考えていく。
	30	100%	0%	送迎時、面談時に行っている。	面談時、じっくりと時間をもったり、送迎時や電話にてお伝えしたり、聞いたりとしている。
31	91%	9%	送迎時、面談時に行っている。	今後も積極的に行っていく。	
	32	91%	9%	契約時や料金変更時に説明をしている。	今後も丁寧に対応していく
	33	91%	9%	ニーズを計画に反映させるよう努めている	今後も丁寧な説明と情報交換を行っていく

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎時、面談時、電話にて相談を受け対応している。	お聞きした問題に対し速やかにアドバイスや助言を行っていきよう努力する
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	18%	82%	できていない。	できるような工夫を考えていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情に対しての問題点や原因を追究し対策を検討。	今後も努力していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	SNS、機関紙を活用。	今後も活動や行事の様子をわかりやすく伝えていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人のファイルは鍵付きのロッカーに保管	今後も意識し対応していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	より丁寧な対応を心掛けている	子どもとの意思の疎通や伝達をより充実できるよう努力していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	64%	36%	秋祭り・展示会を開催。	地域住民というより、グループ内での招待をしている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各種マニュアルを作成している	保護者様への周知を知ってもらうためにどうできるのか考えていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	全体で年2回、児童は毎月行っている	今後も続けていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	服薬内容の確認。発作状況をビデオにとり確認。	変更時など確認し、情報の共有を行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様を通じて行っている	今後も記録に残し確認していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	報告書を作成、共有している	今後もスタッフ間で共有していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	啓発ポスターの作成。	常に共通理解を行い全員参加の研修を続けていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	個別支援計画に記載している	引き続き連絡ノートへの記入も行い、丁寧な説明も続けていく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名 オールケア大日(児童発達支援/重心)

保護者等数(児童数) 1名 回収数 1 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%		スペース確保する為、部屋の配置等に工夫した。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	100%	0%	0%	0%		職員のスキルを高めプロ意識を高めていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	0%		現在問題となる環境はないが、利用児に合わせた工夫は常に行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%		過ごしやすい環境づくりを行った。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		保護者様との連絡を密にとり、ニーズの把握に努め計画に反映させていく。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	0%		保護者様との連絡を密にとり、ニーズの把握に努め計画に反映させていく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		個々のニーズを踏まえて内容の充実を図っていく
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%		月案・日案を保育士が考えスタッフに周知している。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	0%	0%	100%		交流できるように工夫を行っていく。
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		今後も丁寧な対応を行っていく。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%		送迎時や面談時や連絡帳の申し送りの聞き取りした事を皆で工夫し家族様にお伝えしている。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	0%	0%	0%	100%		必要に応じて家族支援が行えるようスタッフ間の共通認識、研修を行っていきます
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		連絡ノートを活用と共に面談時、ライン、送迎時に連携を密にとり情報を共有していく。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	100%	0%	0%	0%		保護者様とも連絡を密に行い、把握した問題には必要な助言を行っていきます
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0%	0%	0%	100%		再開できるように工夫を行っていく。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	0%	100%	0%	0%		保護者様に積極的に聞き取りを行っていき、その日の対応を心掛けていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		子どもや保護者様との意思の疎通や伝達をより充実できるよう努力していきます
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		行事毎、毎日の様子を、インスタ・機関紙を保護者様に伝えている。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	0%	0%	0%	100%		今後も取り扱いには、十分注意していく。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	0%	0%	0%	100%		面談時に丁寧に説明を行っていく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	100%	0%	0%	0%		連絡ノートに記入していますが、よりわかりやすいよう工夫していく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%		楽しく過ごしていけるようにスタッフ間で案を出し合い、実践していく。
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%		家族様の意見等吸い上げ何かできる方法を考えていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名 : オールケア大日 (児童発達支援/重心外)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・適切である ・動ける空間と、ゆったり過ごす空間を作っています	・視覚や聴覚に配慮した環境を作っています
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・適切な配置数である ・万が一足りない時には応援体制をとっています	・配置数を確保した上で、より安全で適切な支援行っています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・つい立てボードで個人環境を作ったり、スケジュールを視覚化しています ・段差がない ・ワンフロアで死角がない	・より良い環境を整えていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・掃除、整理整頓、環境構成を日々考え、実践しています	・より良い環境を整えていきます
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・方針書に年間目標を記載。毎月の全体会議で周知・振り返りを行っています	・PDCAサイクルについて、更なる周知・徹底をしていきます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・評価表やアンケート等の貴重なご意見を反映できるようにしています	・評価表をスタッフに共有し、貴重なご意見を反映できるよう検討していきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	86%	14%	・ホームページに公開しています	・結果をスタッフに共有し、より良い環境を整えていきます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	・内部監査を行い、業務改善につなげています	・第三者による外部評価の実施に努めます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・専門職(介護福祉士・看護師・保育士)による研修を定期的に行っています ・必須研修、自己研鑽の研修時間を確保しています	・研修内容を共有していきます ・積極的に外部研修を受けていきます
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・担当者会議や保護者アンケート等から現状を把握し、支援計画を作成しています	・ニーズや課題をスタッフ間で共有し、支援していきます
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・契約時にアセスメントシートを作成し、必要に応じて更新しています	・アセスメントから児童の姿や保護者のニーズを共有していきます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・ガイドラインに沿って1人ひとり支援計画を作成しています	・より適切な支援につなげるため、必要に応じて研修を行っていきます
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・保護者のニーズの下、支援計画に沿って適切かつ丁寧に支援しています	・研修に参加し、共有していきます
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・複数のスタッフが順番に作成し、内容やねらいを共有しています	・日々評価反省を行い、明日の活動へとつなげていきます
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・複数のスタッフが順番にリーダーとなり、それぞれにアイデアを出して実践しています	・研修で学んだ遊びを実践していきます
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・個別活動はチェックリストを作成、集団活動は月案を立てて行っています	・より具体的に計画を立て支援していきます	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・1日の活動内容、スタッフの動き等、事前に作成しています	・全スタッフが支援内容や役割を確認、実践していきます
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	86%	14%	・毎日の終礼時に評価、反省を行っています ・共有内容は議事録に記入しています	・引き続き、前日の評価反省を活かしていきます
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・チェックリストを活用しています。毎月評価し、次月へ活かしています	・より適切な支援を行っていきます
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・定期的にモニタリング、担当者会議を行い、計画の見直しを行っています	・引き続き定期的にモニタリングを行い新たな支援につなげていきます
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が参加しています	・今後も積極的に参加し、情報共有していきます
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・必要に応じて随時行っています	・今後も必要に応じて連携を図ります
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・必要に応じて各所と連携をとっています	・必要に応じて各所と連携を図ります
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	・ご家族との面談を丁寧に行い、主治医の指示書をとっています	・必要に応じて主治医と連携を図ります
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・必要に応じて行っています	・今後も必要に応じて相互理解を図ります
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・必要に応じて行っています	・今後も必要に応じて相互理解を図ります
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71%	29%	・相談支援員との連携を行ってきました	・コロナ禍が落ち着いた今日、積極的に研修や会議等に参加していきます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	29%	71%	・できる限り戸外に出かけ、道行く人や公園で出会った親子等に挨拶するようにしています	・長期休暇時、関わりを持つ機会が設けられるよう検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	14%	86%	・コロナ禍になり開催なし	・コロナ禍が落ち着いた今日、情報収集し、参加していきます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡帳や送迎時の申し送りの際、児童の様子を丁寧に伝え共有しています	・更なる情報共有を図っていきます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	・面談時に行っています ・必要に応じて、随時相談支援を行っています	・より積極的に、より良い支援につながるよう動いていきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・面談時、丁寧にしています	・引き続き丁寧にしています
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・ガイドラインに沿って支援計画を作成しています ・面談時、丁寧な説明を行っています	・今後も丁寧な説明を行うと共に、更なる情報共有を図ります

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・面談時、ゆっくりと時間をとるようにしています ・面談だけでなく電話等でも丁寧に助言、指導を行っています	・引き続き丁寧にやっていきます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	57%	43%	・保護者参加型の行事の際には、保護者同士ゆっくり関わられるよう時間調整を行っています	・コロナ禍が落ち着いた今日、保護者同士が関わり、連携できるような機会を設けます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・その都度、迅速かつ丁寧に対応しています	・今後も迅速かつ、丁寧に対応していきます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月のおたより発行、ホームページやインスタグラムを活用し、適時情報発信しています	・引き続き積極的に発信していきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・個人情報厳守を徹底しています ・個人ファイルは鍵付きの書棚に保管しています	・引き続き行っていきます
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・丁寧な説明、筆談等の配慮をしています	・必要に応じて研修を受けていきます
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	86%	14%	・秋祭りや作品展等を開催。現在はご家族のみ招待し、安全配慮を行っています	・コロナ禍が落ち着いた今日、地域に開かれた事業運営を図っていきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・各種マニュアルを作成しています ・会議や研修等でスタッフに周知しています	・非常勤スタッフや保護者にも周知、活用できるようにしていきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・毎月、避難訓練を行っています	・1人1人に最適な非難の仕方を考え、訓練していきます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・契約時、または必要に応じてその都度状況を確認しています	・より丁寧に聞き取りしていきます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・契約時、または必要に応じてその都度状況を確認・対応しています	・必要に応じて医師の指示書を確認・対応していきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・ヒヤリハットが出た場合、必ず部署内で共有しています	・今後も共有し、次につなげていきます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・虐待防止委員会を設置しています ・啓発ポスターを複製、貼り出しをしています	・今後も定期的に研修を行っていきます
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・個別支援計画に記載しています ・時間は随時、連絡帳に記載しています	・引き続き連絡帳への記入と共に、十分に配慮していきます

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年 5月 8日

事業所名 オールケア大日 (児童発達支援/重心外) 保護者等数(児童数) 2 回収数 2 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%		身体を動かせるスペースと、ゆっくり過ごせるスペースを確保しています
	2	職員の配置数や専門性は適切である	100%	0%	0%	0%		透明性のある事業運営をしています
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	0%		写真や絵カードを使って、視覚支援を進めています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%		掃除、整理整頓、環境構成を日々考え、実践しています
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		担当者会議を行い支援計画を作成しています
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	50%	0%	0%	50%		ガイドラインに沿って児童発達支援計画書を作成しています
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		毎回、計画書に沿った支援を行っています
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%		複数人で作成し、アイデアを出し合っています
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	0%	0%	100%		長期休暇等で交流できる機会を検討していきます
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		初回面談時に説明しています
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%		保護者のニーズ、児童の発達・成長を踏まえて計画書を作成し、面談時に説明しています
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	0%	0%	50%	50%		面談時には支援計画書の説明と共に、支援の仕方や成功例を丁寧に伝えていくようにします
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		送迎時や電話等、密に連絡・連携を取っています
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	50%	0%	50%	0%		コロナ禍が落ち着いてきた今日、的確に面談を行っています
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0%	0%	50%	50%		今後、従来通り定期的に保護者会を開催していきます
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	100%	0%	0%	0%		事業所内での報連相を徹底し、迅速に対応するよにしています

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		連絡帳や送迎時の申し送りを丁寧に行っています
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		事業所内の連絡や活動内容等は、ホームページやおたより等で情報発信しています
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		守秘義務を遵守します
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	100%	0%	0%	0%		各マニュアルを作成し、周知・説明、災害時を想定しての訓練を行っています
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	100%	0%	0%	0%		災害・避難訓練計画書を作成し、定期的に訓練を行っています
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	50%	50%	0%	0%	その日によって変わる	次回を楽しみにできるように、事前に活動の内容を伝えるようにします
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%		支援計画書に沿った支援を行い、児童の成長の喜びを保護者の皆さまと共有していきます

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名 オールケア大日(放課後等デイサービス/重心)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	その日に来所される利用児様に応じてフルマットのひき方を変えている。	来所される児童に合わせ、利用児様の動きを把握し安全面を配慮している。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	応援体制をとっている。	スタッフの流れの計画をたて、不足している所を事前に伝え協力依頼をかけている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	段差もなくフロアの外からもフロア内が見える。	過ごし横になるスペース、食事の時のスペースの配慮をしている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	82%	18%	月目標に対し、実践振り返りを実施している。	ホール内に貼りだしている。方針書に記載し周知している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケートや支援計画面談にて意向聞き業務改善につなげている。	管理者は分かるがスタッフはわかりづらい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	91%	9%	面談時に共通認識を持つようにしている。	ホームページ公開
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	55%	45%	内部監査を行い業務改善につなげている。	内部監査を行い業務改善につなげている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	91%	9%	専門職による研修の実施。	内部研修はあるが外部研修の機会がない。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	担当者会議やアンケートなど現状や課題を反映している。	利用した日に保護者様に状況を伝えている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	91%	9%	適正時期に見直しが必要。	アセスの内容を検討しながらしようしている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	91%	9%	毎月、活動を作成している。	毎月同じよう内容になっている。活動内容の幅が広がるように調べ取り入れていく。ミーティング・担当者会議等の実施。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	91%	9%	週ごとで活動スケジュールを作成している。	週ごとで活動スケジュールを作っているが身体を動かす週とある場合似た活動や同じ活動してしまっていることがある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	82%	18%	計画書を作成している。	細かい部分がない時がある。取り組み始めている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用児様に依りて支援方法を変えている。	大きい児童と小さい児童と同じ遊びをしたりしているため、しっかり子供の状況をチェックして促していく必要あり。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	82%	18%	朝礼を必ず行っている。一日の流れを作成している。	朝礼に参加できない時には、一日の流れをみて把握している。大きな活動・支援に対しては役割分担や打合せをし確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	91%	9%	終礼時にミーティングを行っている。	スラックにて共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	連絡帳に記録している。	日々の記録を参考にし支援につなげる。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	82%	18%	モニタリングを行っている	引き続き行い改善につなげる
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	91%	9%	一人ひとりの状態に即した計画を立てて支援している。	発達過程や特性、適応行動を理解し、支援に繋げる為、今後も研修を行っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者が参加している	今後も情報共有を行っていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校主催の話し合いに参加、ホームページでの情報交換を行っています。	学校によって情報共有できない事があるので、発信していく必要がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	91%	9%	主治医指示書・家族様に応じて行っている。	主治医指示書を通して連携。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	55%	45%	必要に応じて行っている。	必要の時には、就学前利用施設に連絡し情報を共有し確認していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	グループ内の事業所であれば見学や情報共有などは行っているが他事業所とはできていない。	スムーズに移行できるように情報の提供を工夫しながら行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	45%	55%	研修等少なく参加が難しかった。	内部の事業所ではできているが他機関とはできていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9%	91%	交流する機会がない。	交流できることを考えていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	27%	73%	参加できていない	どう参加できるのか考えていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や面談時の機会を活用し共有している。	面談時、じっくりと時間をもったり、送迎時や電話にてお伝えしたり、聞いたりとしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	73%	27%	送迎時、面談時に行っている。	今後も積極的に行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	91%	9%	契約時や料金変更時に説明をしている。	今後も丁寧に対応していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎時など面談時に行っている。	お聞きした問題に対し速やかにアドバイスや助言を行っていくよう努力する
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9%	91%	開催できていない。	できるような工夫を考えていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	管理者が対応している。	必ずその日に解決し改善につなげている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	SNS、機関紙を活用。	今後も活動や行事の様子をわかりやすく伝えていく
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人のファイルは鍵付きのロッカーに保管	今後も意識し対応していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	より丁寧な対応を心掛けている	子どもとの意思の疎通や伝達をより充実できるよう努力していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	64%	36%	秋祭り・展示会を開催。	地域住民というより、グループ内での招待をしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各種マニュアルを作成している	保護者様への周知を知ってもらうためにどうできるのか考えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	全体での避難訓練に対しては行っているが各部署の事では不十分。	年間の計画をたて、スタッフに周知して実践し記録に残していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	啓発ポスターの作成。	常に共通理解を行い全員参加の研修を続けていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	個別支援計画に記載し了解得ている。連絡帳に乗った降りたの時間を記入している。	引き続き連絡ノートへの記入も行き、丁寧な説明も続けていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	その都度アレルギー確認を行っている。	指示書より家族様のとの対応が多い。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	報告書を作成、共有している	今後もスタッフ間で共有していく

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名 オールケア大日(放課後等デイサービス/重心) 保護者等数(児童数)20名 回収数 20 割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	5%	0%	5%	判断資料なし	スペース確保する為、部屋の配置等に工夫した。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	90%	0%	0%	10%	判断資料なし	職員のスキルを高めプロ意識を高めていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	95%	5%	0%	0%		現在問題となる環境はないが、利用児に合わせた工夫は常に行っていく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	85%	0%	0%	15%	客観的かどうか判断できない。	保護者様との連絡を密にとり、ニーズの把握に努め計画に反映させていく。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	95%	5%	0%	0%		月案・日案を保育士が考えスタッフに周知している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25%	10%	10%	55%	判断資料なし	交流できるように工夫を行っていく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	0%	0%	5%		今後も丁寧な対応を行っていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	95%	0%	0%	5%	丁寧な指導ありがとうございます。	送迎時や面談時や連絡帳の申し送りの聞き取りした事を皆で工夫し家族様にお伝えしている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	85%	5%	0%	10%	判断資料なし	今後も丁寧な対応を心がけていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	30%	0%	15%	55%	判断資料なし	再開できるように工夫を行っていく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	70%	5%	0%	25%	対応状況不明	今後も迅速に丁寧な対応を行っていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	95%	0%	0%	5%		連絡ノートを活用と共に面談時、ライン、送迎時に連携を密にとり情報を共有していく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	95%	0%	0%	5%		行事毎、毎日の様子を、インスタ・機関紙を保護者様に伝えている。
14 個人情報に十分注意しているか	90%	0%	0%	10%	判断資料なし	今後も取り扱いには、十分注意していく。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	85%	0%	0%	15%	判断資料なし	面談時に丁寧に説明を行っていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	95%	5%	0%	0%		連絡ノートに記入していますが、よりわかりやすいよう工夫していく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	85%	10%	0%	5%	いつも楽しみに利用させてもらっています。意思表示できないがフラワー通信を見ると思う。毎回楽しく通所ありがとうございます。	楽しく過ごしていけるようにスタッフ間で案を出し合い、実践していく。
	18 事業所の支援に満足しているか	90%	5%	0%	5%	土・休日・祝日・長期休み昼食があれば良いと思います。スタッフの丁寧さに感謝です。	昼食提供ではなく、何かできる方法を考えていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名 : オールケア大日 (放課後等デイサービス/重心外)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・適切である ・動ける空間と、ゆったり過ごす空間を作っています	・視覚や聴覚に配慮した環境を作っていきます
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	・適切な配置数である ・万が一足りない時には応援体制をとっています	・配置数を確保した上で、より安全で適切な支援行っていきます
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・段差がない ・ワンフロアで死角がない	・より良い環境を整えていきます
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・方針書に年間目標を記載。毎月の全体会議で周知・振り返りを行っています	・PDCAサイクルについて、更なる周知・徹底をしていきます
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・評価表やアンケート等の貴重なご意見を反映するようにしています	・評価表をスタッフに共有し、貴重なご意見を反映できるよう検討していきます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	86%	14%	・ホームページに公開しています	・結果をスタッフに共有し、より良い環境を作っていきます
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	・内部監査を行い、業務改善につなげています	・第三者による外部評価の実施に努めます
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・専門職(介護福祉士・看護師・保育士)による研修を定期的に行っています ・必須研修、自己研鑽の研修時間を確保しています	・研修内容を共有していきます ・積極的に外部研修を受けていきます
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・担当者会議や保護者アンケート等から現状を把握し、支援計画を作成しています	・ニーズや課題をスタッフ間で共有し、支援していきます
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・契約時にアセスメントシートを作成し、必要に応じて更新しています	・アセスメントから児童の姿や保護者のニーズをスタッフ間で共有していきます
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・複数のスタッフが順番に作成し、内容やねらいを共有しています	・日々評価反省を行い、明日の活動へとつなげていきます
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・複数のスタッフが順番にリーダーとなり、それぞれにアイデアを出して実践しています	・研修で学んだ遊びを実践していきます
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・個別支援に沿って1対1で支援しています ・長期休暇には、戸外遊びを取り入れています	・さらにきめ細やかに支援していきます
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・個別活動はチェックリストを作成、集団活動は月案を立てて行っています	・より具体的に計画を立て支援していきます
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・1日の活動内容、スタッフの動き等、事前に作成しています	・全スタッフが支援内容や役割を確認、実践していきます
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	86%	14%	・毎日の終礼時に評価、反省を行っています ・共有内容は議事録に記入しています	・引き続き、前日の評価反省を活かしていきます
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・チェックリストを活用しています。毎月評価し、次月へ活かしています	・より適切な支援を行っていきます
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・定期的にモニタリング、担当者会議を行い、計画の見直しを行っています	・引き続き定期的にモニタリングを行い、新たな支援につなげていきます
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	・1人ひとりに沿った支援計画を作成しています	・より適切な支援につなげるため、研修を行っていきます	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が参加しています	・今後も積極的に参加し、情報共有してまいります
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・送迎時には学校と必ず引継ぎを行っています ・学校主催の会議等に参加しています ・ホームページを確認、共有しています	・今後も細やかな引継ぎを行い、情報共有してまいります
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	・ご家族との面談を丁寧に行い、主治医の指示書をとっています	・必要に応じて主治医と連携を図ります
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	・必要に応じて行っています	・今後も必要に応じて行っています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	・グループ内の事業所の場合、卒業までに見学や体験の場を設けると共に、情報共有を密に行っています	・スムーズに移行できるよう、個人情報に配慮しながら情報の提供をしてまいります
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86%	14%	・相談支援員との連携を行ってきました	・コロナ禍が落ち着いた今日、積極的に研修や会議等に参加してまいります
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	43%	57%	・できる限り戸外に出かけ、道行く人や公園で出会った親子等に挨拶するようにしています	・長期休暇時、関わりを持つ機会が設けられるよう検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	29%	71%	・コロナ禍になり開催なし	・コロナ禍が落ち着いた今日、情報収集し、参加してまいります
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡帳や送迎時の申し送りの際、児童の様子を丁寧に伝え共有しています	・更なる情報共有を図ってまいります
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	71%	29%	・面談時に行っています ・必要に応じて、随時相談支援を行っています	・より積極的に、より良い支援いつながるよう動いてまいります	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・面談時、丁寧に行っています	・引き続き丁寧に行ってまいります
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・その都度丁寧に助言、指導を行っています	・引き続き丁寧に行ってまいります
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	29%	71%	・保護者参加型の行事の際には、保護者同士ゆっくり関わられるよう時間調整を行っています	・コロナ禍が落ち着いた今日、保護者同士が関わり、連携できるような機会を設けます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・その都度、迅速かつ丁寧に対応しています	・今後も迅速かつ、丁寧に対応してまいります
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月のおたより発行、ホームページやインスタを活用し、適時情報発信しています	・引き続き積極的に発信してまいります
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・個人情報厳守を徹底しています ・個人ファイルは鍵付きの書棚に保管しています	・引き続き行っています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・丁寧な説明、筆談等の配慮をしています	・必要に応じて研修を受けてまいります
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	86%	14%	・秋祭りや作品展等を開催。現在はご家族様のみ招待し、安全配慮を行っています	・コロナ禍が落ち着いた今日、地域に開かれた事業運営を図ってまいります

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルを作成しています 会議や研修等でスタッフに周知しています 	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤スタッフや保護者にも周知、活用できるようにしていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、避難訓練を行っています 	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人に最適な非難の仕方を考え、訓練していきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会を設置しています 啓発ポスターを作製、貼り出しをしています 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も定期的に研修を行っていきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に記載しています 時間は随時、連絡帳に記載しています 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き連絡帳への記入と共に、十分に配慮していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 面談時にアレルギーの確認を行っています 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も保護者からの聞き取りを行い、その都度対応していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットが出た場合、必ず部署内で共有しています 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も共有し、次につなげていきます

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名:オールケア大日(放課後等デイサービス/重心外) 保護者等数(児童数) 37 回収数 31 割合 83.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%		身体を動かせるスペースと、ゆっくり過ごせるスペースを確保しています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	90%	0%	0%	10%		透明性のある事業運営をしています
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	94%	0%	0%	6%		より良い環境作りに努めます
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	97%	0%	0%	3%		保護者の皆さまの思いをお聞きし、1人ひとりの子どもたちに添った支援計画を作成しています
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	90%	6%	0%	3%		複数人で作成し、アイデアを出し合っています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16%	16%	13%	55%		長期休暇等で交流できる機会を検討していきます
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	97%	3%	0%	0%		初回面談時に説明しています
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	97%	3%	0%	0%		送迎時や電話等、密に連絡・連携を取っています
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	87%	3%	0%	10%		コロナ禍が落ち着いた今日、的確に面談を行っています
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26%	3%	16%	55%	コロナが落ち着いたので、以前のように保護者会がまた再開された嬉しい	今後、従来通り定期的に保護者会を開催していきます
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	71%	3%	0%	26%		事業所内での報連相を徹底し、迅速に対応するよになっています
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	3%	0%	3%		連絡帳や送迎時の申し送りを丁寧に行っています
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	87%	0%	0%	13%		事業所内の連絡や活動内容等は、ホームページやおたより等で情報発信しています
14 個人情報に十分注意しているか	97%	0%	0%	3%		守秘義務を遵守します	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	87%	0%	0%	13%		各マニュアルを作成し、周知・説明、災害時を想定しての訓練を行っています
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	87%	0%	0%	13%		災害・避難訓練計画書を作成し、定期的に訓練を行っています
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	94%	3%	0%	3%	いつも楽しみに利用させてもらっています	友だちやスタッフとの関わりが深まり、毎日を楽しめるような活動を行っています
	18 事業所の支援に満足しているか	97%	0%	0%	3%	土日祝日・長期休みなど、屋食があればよいと思います	ご期待に添えるよう検討・試行していきます

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。